

「学術リテラシー」の基礎となる「リーディングリテラシー」力の養成 ～2025年大学入学共通テスト試作問題にみる「求められる力」～

文責 永田 麗(日本語リーディングリテラシー研究会代表・大学受験予備校講師)

I : 求められる「読解力」の変遷

| | |
|---|---|
| <p>○「従来型」読解力 (「大辞林」→永田の私見による)</p> | <p>「文章を読み、その内容を理解すること」 →<u>文学的文章や説明的文章などの連続型テキストを読み、その内容＝情報を取り出して理解すること</u></p> |
| <p>○「PISA型」読解力 (OECDの定義による)</p> | <p>自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、<u>テキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むこと</u></p> |
| <p>○「共通テスト型」読解力 (大学入試センター「試行調査」による)</p> | <p>広報の文章(ポスター)、法的な文章(条文)、論理的な文章の構成や展開をとらえるなど、<u>テキストの内容を的確に読み取る力を問うとともに、それらを互いに関連付けながら、設問中に示された条件に応じて考えを深め、適切に判断する力</u></p> |

II : 「これからの大学生」に求められるリーディング・リテラシー

(大学入試センター発表 2025年大学入学共通テスト試作問題より抜粋)

III : 「日本語リーディングリテラシーテスト」

(1) 制作の理念

…現代社会において社会人、学生の皆様に求められるリーディングリテラシー、つまり「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、テキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むこと」(OECD・PISA2018年調査における定義)を「知識・情報・データ読取・論理・文脈・内容把握」の6つの観点から測定評価し、その修得やスキルアップへの道筋を示す。

(2) 測定する分野（設問数と解答時間の目安）

①知識（14問・6分）

…日本語で書かれた一般的な文章を読み取る際に必要な言葉の意味「語意」と言葉の仕組み「文法」の知識を測定します。

②情報（6問・6分）

…テキストに記述されている情報を読み取り、理解することと、その情報を判断・活用する能力を測定します。

③データ読取（8問・6分）

…細部を見落とさず図や表の情報を正しく読み取る力、また設問に答えるのに必要な情報と不必要な情報とを見分ける力を測定します。

④論理（9問・6分）

…文章を読んで論理的構造を把握し集合の包含関係を正しく理解する力、また必要に応じて論理演算を行う力を測定します。

⑤文脈（5問・7分）

…本文に明記された「文と文のつながり」（＝論理）の理解度と共に、そこから解釈・類推して趣旨を抽象する能力を測定します。

⑥内容把握（8問・16分）

…日本語で書かれた一般的な文章を読み取る際に必要な語い力、また筆者が本文で示した論理展開や趣旨に対する理解度を測定します。

(3) 試験時間と出題形式…50分・CBTによる多肢選択問題。マークシート受験にも対応。

(4) ご提供資料

- ①成績一覧データ…Excelファイル（またはCSVファイル）
- ②受験者個々人のスコアレポート…PDFファイル
- ③教授用資料…PDFファイル

(5) テスト本体価格

682円（税込）

IV：「リーディング・リテラシー」をどのように育むか

（「新・読解力トレーニング 日本語リーディングリテラシー錬成BOOK」*より抜粋）

*制作：日本語リーディングリテラシー研究会

販売：ELPA

内容：リーディングリテラシー6分野（知識・情報・データ読取・論理・文脈・内容把握）の錬成

定価：1320円（税込）

メモ

